



第22回合唱祭

《10/28(月) 全校朝礼での校長講話より抜粋》

先週の合唱祭、どのクラスも素晴らしい演奏で、皆さんの頑張りを改めて感じ、感動の一日でした。振り返ってみると、一人ひとりが輝くために、その頑張りを支えてくれた様々なこと、そして四中の伝統に改めて気づくことができました。

木曜日の午後から始まった合唱祭の前日準備、最初に私の目に飛び込んできたのが、美術部が作ってくれた「ミニ組画」(右写真)でした。生徒たちが考えて決めた今年の合唱祭のテーマであった「輝」をモチーフとした作品で、とてもうれしく思いました。今まで通りにみんなで決めたテーマを基に、デザインを考え、美術部独自に作ったその「ミニ組画」。皆さんの思いが伝わってきた気がしました。



そして当日のオープニングセレモニー。組画の紹介はないし、様々な制約があった中でのあの10分間。テーマだった「輝」をあの手裏剣の中で見事にア

ピールし、演じましたね。はっきり言って、私は感動しました。この合唱祭にかける思いを一生懸命に表現し、全校生徒に訴えかけ、この合唱祭を成功させたいという想いを感じました。そして各クラスのクラスアピール。2分間という制約の中、各クラスそれぞれに工夫を凝らし、どれもほほえましく、見ごたえ聞きごたえのあるものでした。

これらのことに共通することは「表現すること」そして、「人を笑顔にすること」ではないでしょうか。それは私が四中の副校長で赴任した7年前、先生方の「合言葉」でもあり、「四中生は表現すること、伝えることが課題なのだ」そして、「人を笑顔にすることができる生徒を育てたいんだ」というものでした。そういう力を付けることができたなら、どんな場面でもその子の持つ力を発揮することができるのだと。そういった伝統を思い出させてくれた一日でもありました。

また、忘れていけないのは、実行委員の皆さんの頑張りと支えですね。それは皆さんが一番わかっていることだと思います。さあ、今日からまた普段通りの学校生活が始まります。そして11月に入ります。この秋に行う合唱祭のもう一つの「価値」は、この取組を通して、クラスがまとまり、相互理解が深まり、集団として成熟していくきっかけになることだと思います。合唱祭の取組がこれからの生活に生きてくることを願っています。

部活動 秋の新人戦等の結果

- 女子バレーボール部 第9ブロック新人戦 ベスト8進出
- 地域野球(ボーイズリーグ) ゼット杯 第36回東日本選抜大会 準優勝
2年生2名(世田谷南ボーイズ所属)
- 女子硬式テニス 2年生 都新人テニス大会シングルの部ベスト16進出

お礼

副校長補佐 佐伯 英徳

いつもさりげなく元気な挨拶を返してくれる、何事にも前向きに取り組む、そして、1つの目標に向かって学年を超えた仲間と力を合わせて進むことができるそんな四中生のことが私は大好きです。校長として3年、副校長補佐として7か月、その間、楽しいことばかりではなく、つらく悲しいできごともありましたが、皆さんの成長を間近でみる事ができた時間は私にとって、とても大切な時間でした。

10月25日はエコルマホールでの第22回合唱祭、素晴らしかったです。1年生の「遠くまで」、明るく元気な歌声から「大切なもののために頑張る」という熱い思いが伝わってきました。2年生の「時の旅人」、この1年間、今日という時間を大切にして取り組んできた皆さんの成長した声を聴くことができました。3年生の「群青」、「詩の冒頭の『ああ』」には、詩に入れることができなかつたたくさんの思いが詰まっている」と田久保先生も仰っていましたが、みなさんの出だしの「ああ」、聴いてしびれました。そして、合唱部、東京都コンクール予選2年連続金賞、さすがでした。

11月から四中を離れますが、自分を信じ、仲間を信じ、互いに支え合いながら成長していく皆さんのことを陰ながら応援していきます。機会があればまた顔を出しますので、その時はまた声をかけてくれたらうれしいです。それじゃ、また！（10月28日全校朝礼より）

保護者・地域の皆様へ

10月31日をもって狛江第四中学校の副校長補佐を退職し、11月1日より狛江市教育委員会の教育委員を務めることになりました。在任中は一方ならぬご理解とご協力と賜りましたこと改めまして厚く御礼を申し上げます。引く続き狛江市の教育の充実に向けて微力ながら尽力してまいりまいる所存ですので何卒よろしくお願いいたします。

※ 学校HP版には月予定を掲載していません。